



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 ニッコンホールディングス株式会社
コード番号 9072 URL <https://www.nikkon-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒岩 正勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理部長 (氏名) 忝田 泰典
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3541-5330

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	53,452	5.7	5,172	33.9	6,025	24.0	4,043	26.3
2023年3月期第1四半期	50,578	6.3	3,861	20.2	4,858	7.9	3,201	4.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 9,062百万円 (105.6%) 2023年3月期第1四半期 4,407百万円 (19.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	62.97	62.86
2023年3月期第1四半期	49.06	48.94

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	369,615	235,180	63.5
2023年3月期	360,748	229,399	63.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 234,696百万円 2023年3月期 228,873百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		48.00		51.00	99.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	110,000	6.0	10,500	18.0	11,200	8.7	7,600	8.4	118.42
通期	230,000	8.5	22,000	12.4	23,500	6.2	16,000	0.5	249.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	65,739,892 株	2023年3月期	65,739,892 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,526,093 株	2023年3月期	1,563,591 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	64,213,833 株	2023年3月期1Q	65,254,850 株

(注)期末自己株式数及び期中平均自己株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役を受益者とする信託が保有する当社自己株式(2024年3月期1Q 26,900株 2023年3月期 26,900株)が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性がある。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う行動制限の緩和によって人流が増加したことや、半導体・部品不足を原因とした減産影響が徐々に縮小を見せるなど緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、引き続き光熱費やエネルギー価格の高騰を始め物価の上昇は続いており、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、原油価格の高止まり、慢性的な人手不足、競争の激化など、厳しい経営環境が続いております。

こうした状況の中、当社グループの第1四半期連結累計期間における売上高は、業務量の回復などにより534億52百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

営業利益につきましては、増収効果に加えて業務効率の向上により51億72百万円（前年同期比33.9%増）となりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加に伴い60億25百万円（前年同期比24.0%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては40億43百万円（前年同期比26.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

貨物取扱量の回復などにより、売上高は239億93百万円（前年同期比4.0%増）となりました。営業利益は、輸送効率の向上などにより12億91百万円（前年同期比66.5%増）となりました。

② 倉庫事業

継続的に行ってきた倉庫の新增設の効果等により保管貨物量が増加し、売上高は95億56百万円（前年同期比5.0%増）となりました。営業利益は、増収効果などにより22億83百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

③ 梱包事業

業務量の回復などにより、売上高は128億11百万円（前年同期比11.6%増）となりました。営業利益は、作業効率の向上などにより6億62百万円（前年同期比92.1%増）となりました。

④ テスト事業

主に業務量の回復により売上高は53億94百万円（前年同期比6.1%増）となりました。営業利益は、増収効果と業務の効率化により7億15百万円（前年同期比78.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は841億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億76百万円増加しました。これは主にその他のうちの仮払金が18億99百万円増加した一方、現金及び預金が13億43百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,855億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億90百万円増加しました。これは主に、栃木県宇都宮市、埼玉県三芳町、茨城県古河市の倉庫建設工事が進行したことにより有形固定資産が35億50百万円増加、投資有価証券が時価評価により44億42百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,696億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ88億67百万円増加しました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は601億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億37百万円増加しました。これは主に営業外電子記録債務が25億29百万円、その他のうちの預り金が11億91百万円増加した一方、未払法人税等が23億23百万円減少したことによるものであります。固定負債は742億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億49百万円増加しました。これは主に繰延税金負債が12億89百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,344億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ30億86百万円増加しました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,351億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ57億81百万円増加しました。これは主にその他有価証券評価差額金が31億19百万円、為替換算調整勘定が18億74百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.5%（前連結会計年度末は63.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想の数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	40,221	38,878
受取手形及び売掛金	33,408	32,139
電子記録債権	3,647	4,875
有価証券	265	288
原材料及び貯蔵品	562	710
その他	4,935	7,227
貸倒引当金	△14	△17
流動資産合計	83,026	84,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	110,320	109,213
機械装置及び運搬具(純額)	7,545	7,620
工具、器具及び備品(純額)	1,771	1,745
土地	116,849	117,161
リース資産(純額)	146	123
建設仮勘定	6,037	10,358
有形固定資産合計	242,671	246,222
無形固定資産		
無形固定資産	2,368	2,426
投資その他の資産		
投資有価証券	22,248	26,690
長期貸付金	388	361
繰延税金資産	3,603	3,585
その他	6,469	6,253
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	32,681	36,862
固定資産合計	277,721	285,512
資産合計	360,748	369,615

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,240	10,758
電子記録債務	6,682	7,400
短期借入金	13,151	13,023
リース債務	60	43
未払法人税等	4,467	2,143
賞与引当金	3,930	4,574
役員賞与引当金	213	55
設備関係支払手形	99	84
営業外電子記録債務	4,299	6,828
その他	14,215	15,285
流動負債合計	58,358	60,195
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	10,059	10,051
リース債務	81	86
繰延税金負債	5,481	6,771
退職給付に係る負債	5,399	5,400
役員退職慰労引当金	454	413
その他の引当金	13	15
その他	1,501	1,501
固定負債合計	72,990	74,239
負債合計	131,349	134,435
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	194,873	195,606
自己株式	△3,596	△3,510
株主資本合計	214,926	215,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,423	13,543
為替換算調整勘定	3,490	5,365
退職給付に係る調整累計額	32	42
その他の包括利益累計額合計	13,947	18,951
新株予約権	210	161
非支配株主持分	314	322
純資産合計	229,399	235,180
負債純資産合計	360,748	369,615

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	50,578	53,452
売上原価	43,760	45,419
売上総利益	6,818	8,033
販売費及び一般管理費	2,956	2,861
営業利益	3,861	5,172
営業外収益		
受取利息	19	39
受取配当金	316	339
受取賃貸料	18	18
持分法による投資利益	139	136
為替差益	443	256
雑収入	137	142
営業外収益合計	1,075	931
営業外費用		
支払利息	57	61
雑支出	21	16
営業外費用合計	78	78
経常利益	4,858	6,025
特別利益		
固定資産売却益	20	25
特別利益合計	20	25
特別損失		
固定資産売却損	2	2
固定資産除却損	101	-
特別損失合計	103	2
税金等調整前四半期純利益	4,775	6,047
法人税等	1,584	1,999
四半期純利益	3,190	4,047
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,201	4,043

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	3,190	4,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△652	3,119
為替換算調整勘定	1,769	1,830
退職給付に係る調整額	28	10
持分法適用会社に対する持分相当額	71	54
その他の包括利益合計	1,217	5,014
四半期包括利益	4,407	9,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,408	9,047
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年8月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することについて決議しました。

詳細につきましては、本日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2023年8月4日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことについて決議いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「従業員持株会に対する第三者割当による自己株式処分に関するお知らせ」をご参照ください。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
自動車	5,920	2,359	4,858	4,962	18,101	156	18,257
自動車部品	5,394	2,414	2,247	109	10,166	459	10,625
住宅	3,837	830	1,934	—	6,601	49	6,651
農機	1,299	389	229	6	1,924	16	1,940
食品・飲料	474	575	196	—	1,245	14	1,260
新聞・出版物	1,138	0	—	—	1,138	—	1,138
その他	5,001	2,390	2,015	7	9,415	841	10,257
顧客との契約 から生じる収益	23,066	8,959	11,482	5,086	48,593	1,538	50,132
その他の収益	—	146	—	—	146	299	445
外部顧客への売上高	23,066	9,105	11,482	5,086	48,740	1,838	50,578
セグメント間の内部 売上高又は振替高	73	73	90	3	240	726	967
計	23,139	9,179	11,572	5,089	48,980	2,565	51,545
セグメント利益	775	2,106	344	401	3,629	271	3,900

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,629
「その他」の区分の利益	271
その他の調整額(注)	△38
四半期連結損益計算書の営業利益	3,861

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
自動車	7,433	2,375	5,352	5,152	20,313	155	20,469
自動車部品	4,981	2,377	2,869	137	10,366	338	10,704
住宅	3,850	894	2,035	-	6,779	43	6,823
農機	1,242	424	247	20	1,934	28	1,963
食品・飲料	415	678	195	-	1,289	15	1,304
新聞・出版物	1,152	0	0	-	1,152	-	1,152
その他	4,918	2,654	2,110	83	9,768	828	10,596
顧客との契約 から生じる収益	23,993	9,404	12,811	5,394	51,604	1,411	53,016
その他の収益	-	152	-	-	152	284	436
外部顧客への売上高	23,993	9,556	12,811	5,394	51,756	1,695	53,452
セグメント間の内部 売上高又は振替高	85	77	74	2	239	614	853
計	24,079	9,634	12,885	5,397	51,996	2,309	54,306
セグメント利益	1,291	2,283	662	715	4,952	267	5,219

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,952
「その他」の区分の利益	267
その他の調整額(注)	△47
四半期連結損益計算書の営業利益	5,172

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。